

2002年5月1日

東京三菱銀行
調査室

調査月報・論文/2002年5月：環境変化に直面する自動車部品業界

要約文

- (1) わが国自動車部品業界は、ここ数年、完成車メーカーの調達方針転換という一大環境変化に見舞われている。完成車メーカーが、従来の取引関係にとらわれず、「コスト削減」と「開発・生産分担」という明確な基準によって、部品メーカーを選別する姿勢を強めているのである。
- (2) 今後、斯界では、完成車メーカーの要請に応じ得る巨大部品メーカーの存在感が高まろう。その他の部品メーカーも、得意製品・地域を主体とすることで生き残りは可能とみられるが、一方で、異なる部品を扱うメーカーや電子部品メーカーなどとの全方位的な競合に晒されることになり、環境は一段と厳しさを増そう。
- (3) こうした状況下、部品メーカーには、自社の特性を最大限に活かす“戦略”がこれまで以上に重要となりそう。具体的には、全方位的な競合に勝ち残るには、自社技術の強化はもとより補完的な提携などの迅速な対応が求められる。一方、完成車メーカーからの様々な要請については、自社の体力と適性を見据えたうえで個別に判断することが肝要となろう。